

令和6年度 ふるさとものづくり支援事業

市町村名	北海道平取町		
事 業 名	野生のホップ（カラハナソウ）等を活用したクラフトジンの商品化		
企 業 等 概 要	企業等の名称	一般社団法人びらとり観光協会	
	代表者 氏名	平村 徹郎	
	所 在 地	北海道沙流郡平取町本町 28 番地	
	連 絡 先	01547-3-7703	
	U R L	https://biratori-kanko.jp/	

令和8年1月現在

【事業者概要】

- ・平取町への観光・交流を促進するための広報宣伝や観光客等への利便を図ることで、観光の振興、地域の活性化、地域文化の向上を促し、経済の活性化に寄与することを目的として活動している。

【事業概要】

◇背景・経緯

- ・平取町の特産品として「びらとり和牛」や「びらとりトマト」などがあるが、いずれも食品としての特産品であり、お土産品になるものが不足していた。そのため、平取町にあるカラハナソウ（野生のホップ）やアイヌ文化と絡めた資源を活用し、地域の特色を生かした新たな特産品として、クラフトジンの商品化を目指すことを考え、町役場に相談をした。そのときに町から財團の補助金を紹介され、活用することとなった。

◇開発概要

- ・自生している未活用素材の野生のホップ（カラハナソウ）を使い、ボタニカルを抽出。
- ・パッケージデザインは、アイヌ工芸家の高野啓子氏に依頼し、野生のカラハナソウを連想させる柔らかくもあり太陽に向かっていく植物の力強さを表現した。

【成果】

◇地域性・特徴

- ・クラフトジン「PORO SIR」はアイヌの有用植物である、行者ニンニクの鮮烈な香りに、さわやかなヨモギ、キハダの樹皮の奥深さ、カラハナソウのスパイク感が続く。
- ・ジュニパーベリーと平取町の特産品であるトマトの旨味が全体を包み込み、白糠を濾してまろやかな仕上がり。



クラフトジン『PORO SIR』



ポストカード

◇商品化・販売先

- ・令和7年3月1日より、平取町内にある『びらとり温泉美味しい宿 ゆから』にて、100ml・500mlのクラフトジンを販売中。また、併設するレストランでも、ソーダ割の提供を行っている。
- ・「ポロシリ」とは、「大きな山」の意。日本最大の国立公園「日高山脈襟裳十勝国立公園」にある最高峰「幌尻岳（ぽろしりだけ）」を由来としており、古来からアイヌの人々の信仰対象となっている。

【今後の展望】

- ・酒販資格を保有次第、ECサイトでの販売を検討中。
- ・SNSや観光協会のHPへの効果的な掲載方法を模索するなど、積極的なPRに取り組んでいく。
- ・購入層のターゲットを絞り、クラフトジンに合う食品とのセット販売への検討も重ねていく。